



日本共産党
京都市会議員

山中渡

わたる

9月 決算
市会報告

URL <http://yamanaka-wataru.jp/>

✉ shikai@yamanaka-wataru.jp

決算特別委員会・市長総括質疑から

住み続けられる下京区を

開発を優先させる

まちづくりを批判

10月の市長総括質疑で、都市再生緊急整備地域拡大と下京のまちづくりを取り上げ、開発優先の市の姿勢を厳しく批判しました。質疑では、京都駅西部エリア活性化将来構想では「すべての居住者が安心して暮らし文化を楽しむまち」とあるが、京都市がすすめるようにしているのは都市再生の名のもとに、中央卸売市場整備後の公有地活用を最優先させ、民間開発事業者から提案があれば開発の手続きを短縮するなど開発優先のまちづくりだと指摘しました。現に将来構想には、七条通に面した商店街振興についてイラストがあるだけで、具体的な振興策などは何も示されていません。

都市再生緊急整備地域とは

下京区では京都駅周辺、下京西部の中央卸売市場、リサーチパーク周辺など、162ヘクタールが指定されています。地域内では民間開発事業者がまちづくりの提案ができ、その際に手続きの短縮、用途の規制緩和、金融支援などの優遇措置を受けることができます。開発優先のまちづくりにつながります。

「市バスの管理の受委託」 安全運行に問題

決算特別委員会・交通局質疑から

9月の決算特別委員会で「市バスの管理の受委託」が安全運行を脅かしているとして、やめるよう求めました。

そもそも「市バスの管理の受委託」はコスト削減を最大の狙いにした制度で、コスト削減を追求した結果、委託先民間バス会社では二種免許取得者が減り、労働強化と低賃金労働が広がっていると指摘。委託先バス会社が低賃金の契約社員や休日出勤でしている実態を取り上げ、このままでは安全運行に支障をきたすと指摘し、早急な改善と「管理の受委託」の中止を求めました。

山中渡の 区民の皆さんとともに

下京の将来は？ 懇談の輪が広がっています

京都駅西部エリア活性化構想、中央卸売市場再整備、梅小路公園のJR新駅設置などをめぐって、「下京区の将来がどうなるか」などと、関係住民や各種団体の皆さんの懇談・学習会の取り組みが広がっています。

地域団体、消費者団体、料理飲食関係団体の学習会などに出席、懇談してきましたが、安心してらせる下京のためにも「まちづくり運動」の広がりをと求める声が相次いでいます。



懇談会

「民泊」の急増が心配です

下京区の東部、北部を中心に「民泊」が急増しており、心配の声が上がっています。京都市の調査でも7割の「民泊」が違法状態にあることが明らかになっています。

地域の皆さんとともに、不安をかかえる住民の皆さんの声を聞き、違法な施設については是正の指導を強める取り組みをすすめています。



地域の調査

どんなお困りごとでもお寄せ下さい！

下京生活相談所 TEL.343-4634 自宅 361-3433